

佐賀県の CALS/EC



より公正に、効率的に。 CALS/ECの導入で、公共事業の進め方が大きく変わります。

CALS/EC(カルス・イーシー)とは、「公共事業支援統合情報システム」の略称です。今まで紙で交換されていた情報を電子化し、ネットワークを活用して情報の共有・有効活用を図るための仕組みで、コスト縮減や事業執行の迅速化、品質の向上など、公共事業の進め方が大きく変わるシステムのことです。

佐賀県の情報化に関する取り組み

～夢・輝く「人材“有”県 生活“悠”県」のさがづくり～

21世紀の佐賀県、その社会基盤として、電子行政サービスを推進しています。

佐賀県は、平成13年度より、IT革命に対応した「電子県庁」の構築を推進。電子行政サービスにも積極的に取り組んでいます。電子調達に関しては、県がホームページで提供する調達情報の簡易なアクセスの実現とともに、インターネットを活用した電子入札・開札を実施するなど、県の調達手続きを電子化することにより、企業の負担軽減および行政事務の簡素化・合理化を図ってきました。この度導入する『CALS/EC』は、この取り組みをさらに発展させるもので、公共事業の業務プロセスを大きく変革するものと期待されています。

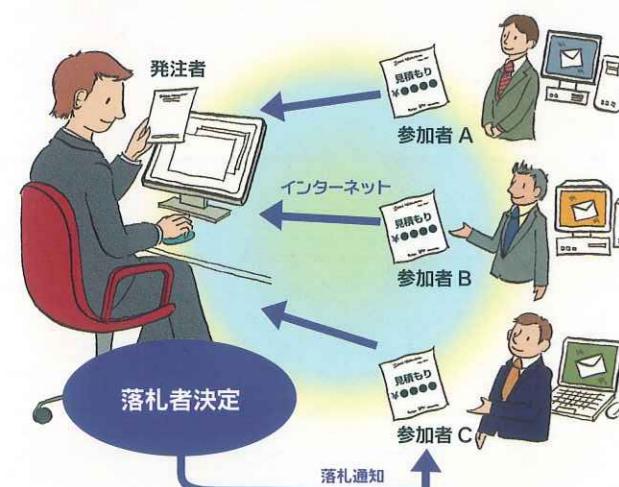
[CALS/ECの導入目的]

IT(情報通信技術)を活用して情報の共有・有効利用を図ることにより、公共事業の「透明性の向上・公正性の確保」「品質向上」「生産性向上」「コスト縮減」を実現することを目的に導入します。

1 効果

入札・契約の透明性の向上や公正な競争が確保されます。

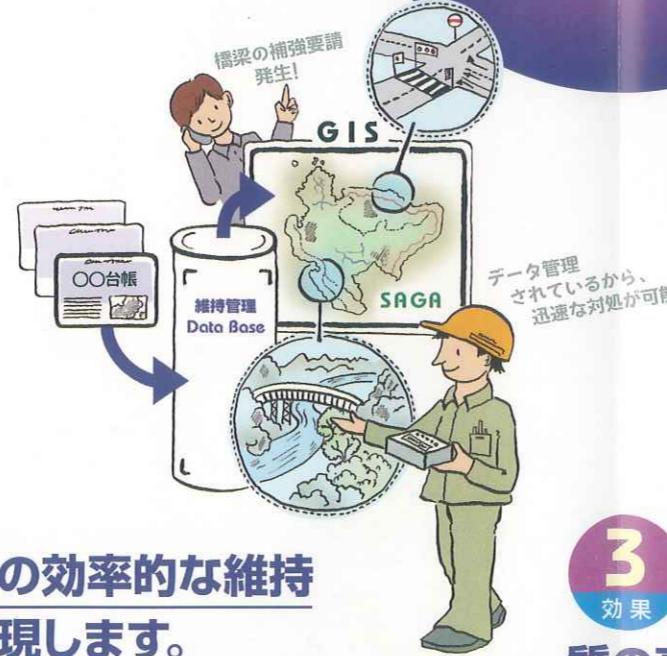
入札・契約の透明性の向上及び、受注者の公正な競争を確保できます。
※入札については、電子入札を平成16年度から導入しています。



2 効果

公共施設の効率的な維持管理が実現します。

公共施設の計画的な維持管理を行うことにより、施設をより長く利用することができるようになります。



3 効果

質の高い行政サービスを提供できます。

情報ネットワークを活用することで、公共事業分野における多様な県民ニーズにも迅速・的確に対応でき、質の高い行政サービスを提供できるようになります。

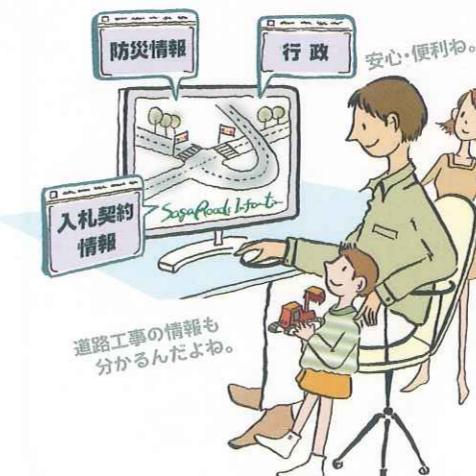


(1) 電子調達

コストの縮減が実現します。

(1) 電子調達

入札事務の効率化や書類の電子化によりコストの縮減が図れます。さらに、公共事業に関する入札手続を、インターネットを利用して実施することにより、移動コストや書類作成に要する費用の削減が図れます。



佐賀県内の建設産業の活力向上が図れます。



5 効果

佐賀県のCALS/EC整備項目

■調達（電子調達）■

電子入札
入札情報サービス
入札説明書ダウンロードシステム

■維持管理■

電子納品保管管理システム
GISシステムとの連携
維持管理データベース更新の迅速・効率化
現場からの情報取得

■調査設計・工事施工■

電子納品
情報共有システム
地質データの提供

■教育・普及・支援活動■
CALS/ECホームページ
受注者・発注者説明会等

スケジュール表

整備項目	段階	第1段階（準備期）		第2段階（実証期）		第3段階（普及期）	
		H19	H20	H21	H22	H23	H24
電子調達	電子入札	(本運用中)					
		市町との共同利用の検討					
	入札情報サービス	検討、準備	システム設計・構築	試行	一部運用	順次拡大	本運用
		市町との共同利用の検討					
電子納品	入札説明書の インターネットを通じた配布	検討、準備	システム設計	システム構築	試行	一部運用	順次拡大
		運用ガイドライン策定	実証実験開始	一部運用	順次拡大	本運用	
	電子納品 工事	運用ガイドライン策定	実証実験開始	一部運用	順次拡大	本運用	
				検討、準備	システム設計	システム構築	一部運用
情報共有システム				検討	実証実験		

お問い合わせ先

佐賀県 CALS/EC推進協議会
(事務局・佐賀県 県土づくり本部 建設・技術課)

TEL: 0952-25-7168 FAX: 0952-25-7317
E-mail : kensetsu-gijutsu@pref.saga.lg.jp

佐賀県のホームページ
<http://www.pref.saga.lg.jp/>

2007年3月作成